

まえがき

本報告書は、緑化生態研究室が平成 17 年度に行った調査・研究の概要ならびに、当研究室のスタッフが平成 17 年度に学会や雑誌などで発表した論文を収録したものです。

平成 17 年度に実施した調査・研究課題は、大きく以下の 4 テーマに分類されます。

- ① 緑化技術に関する研究
- ② 公園・緑地等の計画に関する研究
- ③ 生態系の保全や環境アセスメントに関する研究
- ④ 緑豊かで良好な景観形成の支援に関する研究

「① 緑化技術に関する研究」では、外来種による生態系への影響とその回避手法に関する研究、道路緑地の設計手法に関する研究、公園施設等における壁面緑化技術開発等に関する調査、台風による倒木被害対策に関する調査を実施しました。

「② 公園・緑地等の計画に関する研究」では、中分解能衛星データによる緑地の変遷解析手法に関する研究、都市公園の経済評価手法の確立に関する研究、少子・高齢化社会に対応した公園緑地基準の検討、自然との触れ合いの場の整備技術の研究を実施しました。

「③ 生態系の保全や環境アセスメントに関する研究」では、公園緑地における生態的環境評価手法に関する研究、動植物・生態系への事業影響予測と情報可視化手法の開発、動植物・生態系の環境保全措置と事後調査手法に関する調査、圍繞景観の評価手法に関する調査、ミティゲーション整備技術の研究を実施しました。

「④ 緑豊かで良好な景観形成の支援に関する研究」では、景観形成事業推進費の対象事業に係る評価結果検討調査、景観評価の高度化に関する調査、景観重要樹木の管理指針の策定に関する調査を実施しました。

自然環境と人間生活の調和や共存が叫ばれているなか、道路、河川、公園、都市など公共事業のあらゆる場面で自然環境への配慮が求められています。一方、公共の緑地には、快適性、美しさ、自然との触れ合いなど、さまざまな効果があり、これらの効果を正しく評価し、その効果をより発揮しやすくする技術の開発が求められています。この時代のなかで、私たちは今後も研究成果に対する皆様からの評価やご意見を踏まえつつ、より効果的な政策提言の発信に向けて努力していきたいと考えています。

末尾ながらこれまでの関係の皆様のご指導、ご協力に感謝するとともに、緑化生態研究室に対する変わらぬご支援をお願いする次第です。

平成 18 年 12 月

国土交通省国土技術政策総合研究所
環境研究部 緑化生態研究室長
松江 正彦